



— 公文書は、民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源 —

国立公文書館（内閣府所管の独立行政法人）は、国の行政機関等の公文書管理を支え、歴史資料として重要な公文書を保存し、展示等により一般の利用に供しています



所蔵資料の1つ「日本国憲法」



所蔵資料は誰でも利用可能



公文書の修復作業について取材を受ける職員



公文書を身近に感じてもらう展示会の開催

新館の開館

新たな国立公文書館が、国会議事堂、最高裁判所、各行政機関といった、国の立法・司法・行政の三権が集中するエリアに、令和11年度末に開館予定です。国のかたちや国家の記憶を伝え将来につなぐ「場」としての機能を果たすことなどが求められており、国立公文書館が国民により身近な存在になるよう取組を進めています。



新館イメージ

先輩職員メッセージ①

当館の業務に関する専門的知識等を全く持たない状態で入りましたが、今年度はアーチイブズに直接的に関わる業務を担当しています。幅広い学びがあり、休暇も取りやすいため、充実した日々を送っています。

統括公文書専門官（評価選別担当）付
令和5年度採用（一般職（大卒）・行政）

↓ 詳細は当館HPをご覧ください ↓



<https://www.archives.go.jp/saiyo/ippan/index.html>

採用後の待遇

勤務地は、北の丸本館又はつくば分館です（新館開館後は新館を含みます。）。内閣府等への出向の機会もあります。

組織の運営部門や公文書の保存・利用に関する業務など、様々な分野で経験を積みながら、個々の強みや適性を活かして専門性を身に付けていきます。

公文書の管理や資料の保存・利用について学ぶ機会もありますので、採用時に専門的な知識や資格は求められません。

職員数・ワークライフバランス

約200人の職員（非常勤職員を含む。）が在籍しております、女性が半数以上を占めています。休暇制度も充実しているほか、テレワーク等の活用を推進するなど、働きやすい職場です。

先輩職員メッセージ②

私は主に、館内外の連絡調整等に従事しております。国立公文書館で働かなければ、経験できない業務にも携われます。業務で行き詰まても、周りの方々が丁寧に教えてくださり、日々感謝を感じながら、取り組んでいます。

総務課総括係
令和6年度採用（一般職（大卒）・行政）

お問い合わせ先

独立行政法人国立公文書館総務課人事係
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL : 03-3214-0623
E-MAIL : saiyotanto@archives.go.jp